

全建統一様式第3号

施 工 体 制 台 帳

H29.4.25

[会 社 名]日本メックス株式会社

[事業所名]入船ビル改修工事 工事事務所

建設業の 許 可	許 可 業 種		許 可 番 号			許可(更新)年月日
	建築・土木・防水・とび、 土工・塗装・電気・管	工事業	大臣	特定	第 43 号	平成28年7月16日
		電気通信・消防施設 工事業	大臣	一般	第 43 号	平成28年7月16日

工事名称 及び 工事内容	入船ビル改修工事 改修工事		
発注者名 及び 住 所	株式会社○△□建設 〒 10-8798 東京都千代田区霞が関1丁目○番地○号		
工 期	自 至	H29.5.1 H30.3.31	H29.4.20

発注者の 監督員名	山田 太郎	権 限 及 び 意見申出方法	下請け契約第9条の通り 文書による
--------------	-------	-------------------	----------------------

監督員名	鈴木 一郎	権 限 及 び 意見申出方法	下請け契約第9条の通り 文書による
現 場 代理人名	鈴木 一郎	権 限 及 び 意見申出方法	下請け契約第9条の通り 文書による
監 理 技術者名	専任 鈴木 一郎	資格内容	1級建築施工管理技士
専 門 技術者名		専 門 技術者名	
資格内容		資 格 内 容	
担 当 工事内容		担 当 工事内容	

外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	無	外国人技能実習生の 従事の状況(有無)	無
------------------------	---	------------------------	---

健康保険等の 加入状況	保険加入の有無	健康保険		雇用保険	
		加入		加入	
	事業所整理 記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険
		日本メックス株式会社	5246 管工業健康保険組合	21-N3EC07428	13301545400-000

(記入要領)

- 1この様式は元請が作成し、一次下請負業者を通じて報告される再下請負通知書(様式第1号一甲)を添付することにより、一次下請負業者別の施工体制台帳として利用する。
発注者及び下請負人との契約書面の写しを添付(公共工事は請負代金額の記載のあるもの)
- 2上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載がある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
- 3監理技術者/主任技術者の配置状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること。
- 4専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(監理技術者・主任技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
- 5監理技術者・主任技術者及び専門技術者について次のものを添付すること。①資格を証するものの写し②自社従業員である証明書類の写し(従業員証、健康保険証など)
- 6①出入国及び難民認定法(昭和26政令319号)別表第1の2の表の技能実習の在留資格を決定された者(以下「外国人技能実習生」という。))が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を選択。
②同法別表第1の5の表の上欄の在留資格が決定された者であって、国土交通大臣が定めるもの(以下「外国人建設就労者」という。))が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を選択。
- 7健康保険等の加入状況の保険加入の有無欄には、各保険の適用を受ける営業所について届出を行っている場合は「加入」を、行っていない場合(適用を受ける営業所が関する事項は請負契約に係る営業所の名称を、健康保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号(健康保険組合にあっては組合名)を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を、厚生年金保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を、雇用保険欄には、労働保険番号を、継続事業の一括の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号をそれぞれ記載する。

《下請負人に関する事項》

会 社 名	○△×建設(株)	代表者名	冬山 浩二
住 所	〒 000-0000 東京都千代田区九段下○-×		
電話番号	(TEL 03-1234-5678)		
工事名称 及 び 工事内容	白井郵便局模様替改修工事 塗装工事		
工 期	自 至	H29.5.10 H30.3.10	H29.5.5
契 約 日			

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種		許 可 番 号		許可(更新)年月日
	塗装 工事業	知事 一般	26 第 123456 号		平成26年4月10
		工事業	第 号		

現場代理人名	企画 太郎	安全衛生責任者名	企画 太郎
権 限 及 び 意見申出方法	口頭及び文書による	安全衛生推進者名	企画 太郎
※主任技術者名	非専任 企画 太郎	雇用管理責任者名	冬山 浩二
資 格 内 容	1級建築施工管理技士	※専門技術者名	
※登録基幹技能者 名・種類		資 格 内 容	
		担当工事内容	

外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	無	外国人技能実習生の 従事の状況(有無)	無
------------------------	---	------------------------	---

健康保険等の 加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入		加入		加入	
	事業所 整理記号番号	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		
		○△×建設(株)	〇〇-〇〇56789	〇〇-〇〇56789	113-11-123456-000		

※ [主任技術者、専門技術者、登録基幹技能者の記入要領]

- 1主任技術者の配属状況について[専任・非専任]のいずれかに○印を付すこと。
- 2専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
- 3登録基幹技能者が複数いる場合は、適宜欄を設けて全員を記載する。
- 4主任技
術者の
経験年数による場合
①大学卒[指定学科]
(短大・高専卒業者を含む。)
2)高校卒[指定学科]
3)その他
3年以上の実務経験
5年以上の実務経験
10年以上の実務経験
②資格等による場合
1)建設業法[技術検定]
2)建築士法[建築士試験]
3)技術士法[技術士試験]
4)電気工事士法[電気工事士試験]
5)電気事業法[電気主任技術者国家試験等]
6)消防法[消防設備士試験]
7)職業能力開発促進法[技能検定]

全建統一様式第1号－甲

H29.5.5

建設業法・雇用改善法等に基づく届出書(変更届)

(再下請負通知書様式)

直近上位の
注文者名

日本メックス株式会社

【報告下請負業者】

現場代理人
(所長名)

鈴木 一郎 殿

〒 000-0000
住所 東京都千代田区九段下〇-×

元請名称

日本メックス株式会社

会社名 〇△×建設(株)

代表者名 冬山 浩二

《自社に関する事項》

工事名称 及 び 工事内容	入船ビル改修工事 塗装工事		
工 期	自 至 H29.5.10 H30.3.10	注文者との契 約日	H29.5.5

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	許 可 番 号		許可(更新)年月日
	塗装 工事業	知事 一般	26 第 123456 号	平成26年4月10
	工事業		第 号	

監 督 員 名	-	安全衛生責任者名	企画 太郎
権限及び 意見申出方法	-	安全衛生推進者名	企画 太郎
現場代理人名	企画 太郎	雇用管理責任者名	冬山 浩二
権限及び 意見申出方法	口頭及び文書による	※専門技術者名	/
※主任技術者名	非専任 企画 太郎	資格内容	
資格内容	1級建築施工管理技士	担当工事内容	
		※登録基幹技術者 名・種類	/

外国人建設就労者 の従事の状況(有無)	無	外国人技能実習生 の従事の状況(有無)	無
------------------------	---	------------------------	---

健康保険等 の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入		加入		加入	
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険		厚生年金保険		雇用保険
〇△×建設(株)		〇〇-〇〇56789		〇〇-〇〇56789		113-11-123456-000	

(記入要領)

1 報告下請業者は直近上位の注文者に提出すること。

2 再下請契約がある場合は、《再下請負契約関係》欄（当用紙の右部分）を記入するとともに、次の契約書類（公共工事以外は下請代金額の記載は不要）の写しを全ての階層について提出する。なお、再下請が複数ある場合は、《再下請負契約関係》欄をコピーして使用する。
①請負契約書、(注文書・請負等) ②請負契約約款

3 一次下請負業者は、二次下請業者以下の業者から提出された書類とともに様式第1号－乙に準じ下請負業者編成表を作成の上、元請に届け出ること。

4 この届出事項に変更があった場合は直ちに再提出すること。

⑤ 1 出入国及び難民認定法（昭和26年政令第319号別表第1の2の表の技能実習の在留資格を決定された者（以下「外国人技実習生」という。）が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を選択する。
② 同法別表第1の5の表の上欄の在留資格が決定された者であって、国土交通大臣が定めるもの（以下「外国人建設就労者」という。）が、建設工事に従事する場合は「有」、従事する場合は「無」を選択する。

《再下請負関係》 再下請負業者及び再下請負契約関係について次のとおり報告いたします。

会 社 名	(有)笑笑塗装	代表者名	山田 笑一郎
住 所	〒 000-0000 埼玉県さいたま市△△区2-2-2		
電話番号	(TEL 048-987-6543)		
工事名称 及 び 工事内容	入船ビル改修工事 塗装工事		
工 期	自 至 H29.5.10 H30.3.10	契 約 日	H29.5.5

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	許 可 番 号		許可(更新)年月日
	— 工事業		第 号	
	工事業		第 号	

現場代理人名	山田 笑一郎	安全衛生責任者名	山田 笑一郎
権限及び 意見申出方法	口頭及び文書による	安全衛生推進者名	山田 笑一郎
※主任技術者名	—	雇用管理責任者名	山田 笑一郎
資格内容	—	※専門技術者名	/
※登録基幹技能者 名・種類	/	資格内容	
		担当工事内容	

外国人建設就労者 の従事の状況(有無)	無	外国人技能実習生 の従事の状況(有無)	無
------------------------	---	------------------------	---

健康保険等 の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入		加入		加入	
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険		厚生年金保険		特別労災保険
	(有)笑笑塗装	埼玉土建国保組合		国民年金		45601234567-765	

6 健康保険等の加入状況の保険加入の有無欄には、各保険の適用を受ける営業所について届出を行っている場合は「加入」を、行っていない場合（適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部に行っていない場合を含む）は「未加入」を、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を選択する。事業所整理記号等の営業所の名称欄には、請負契約に係る営業所の名称を、健康保険欄には、事業所整理記号及び事業書番号（健康保険組合にあっては組合名）を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を厚生年金保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を雇用保険欄には、労働保険番号を、継続事業の一括の許可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号をそれぞれ記載する。
なお、この様式左側について、直近上位の注文者との請負契約に係る営業所以外の営業所で再下請負業者との請負契約を行う場合には欄をそれぞれ追加する。

※ [主任技術者、専門技術者、登録基幹技能者の記入要領]

1 主任技術者の配属状況について〔専任・非専任〕のいずれかに○を付すこと。

2 専門技術者には土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。

3 登録基幹技能者が複数いる場合は、適宜欄を設けて全員を記載する。

4 主任技術者の資格内容（該当するものを選んで記入する。）
①経験年数による場合
1)大学卒[指定学科] 3年以上の実務経験
(短大・高专卒業者を含む。)
2)高校卒[指定学科] 5年以上の実務経験
3)その他 10年以上の実務経験
②資格等による場合
1)建設業法[技術検定] 6)消防法[消防設備士試験]
2)建築士法[建築士試験] 7)職業能力開発促進法[技能検定]
3)技術士法[技術士試験]
4)電気工事士法[電気工事士試験]

注文書（控）

殿

注文番号	4500292859-10		
工事名	機機替工事 〈 防水工事 〉		
工 番	P5J-01298		
工事場所	東京都足立区竹の塚5-2-24		
工 期	着 工 平成29年02月22日 完 成 平成29年03月17日 部分完成(1) () 部分完成(2) ()		
契約金額等	金 額	金	円
	本 体 価 格	金	円
	消 費 税 (8 %)	金	円
※ なお、消費税等相当額は経過措置による適用を除き、引渡時点の税率により計算された税額とする			
摘 要 欄	① 解体工事に要する費用等	建設工事が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律104号）第9条 第1項に規定する対象建設工事 <input type="checkbox"/> 該当する（別紙記載のとおり） <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
	② 支給材料	<input type="checkbox"/> 有（別添記載のとおり） <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	③ 部分払	<input checked="" type="checkbox"/> 有（工期中 1 回以内） <input type="checkbox"/> 無	
	④ 瑕疵担保	施主への引渡しの日から 2 年間 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	⑤ 工事費内約明細書	<input type="checkbox"/> 要（契約締結後 日以内に提出） <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
	⑥ 工程表	<input type="checkbox"/> 要（契約締結後 日以内に提出） <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
	⑦ その他	支払方法：指定口座へ振り込み	
〈 添付資料 〉 項目別注文内容書、見積書			

「工事下請基本契約書」または、「工事下請負契約約款」に基づき、上記の通り工事を注文しますので、応諾したときは工事請負請書をご提出下さい。

平成29年2月21日

〈 注 文 者 〉

日本メックス 株式会社
エンジニアリングサービス本部長 小泉 幸秀
〒104-0042 東京都中央区入船3丁目6番3号
Phone. 03-5541-5870 Fax. 03-5541-5879

		担当者
		信田

工事請負請書

日本メックス 株式会社
エンジニアリングサービス本部長 小泉 幸秀 殿

注文番号	4500292859-10		
工事名	機機替工事 〈 防水工事 〉		
工 番	P5J-01298		
工事場所	東京都足立区竹の塚5-2-24		
工 期	着 工 平成29年02月22日 完 成 平成29年03月17日 部分完成(1) () 部分完成(2) ()		
契約金額等	金 額	金	円
	本 体 価 格	金	円
	消 費 税 (8 %)	金	円
※ なお、消費税等相当額は経過措置による適用を除き、引渡時点の税率により計算された税額とする			
摘 要 欄	① 解体工事に要する費用等	建設工事が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律104号）第9条 第1項に規定する対象建設工事 <input type="checkbox"/> 該当する（別紙記載のとおり） <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	
	② 支給材料	<input type="checkbox"/> 有（別添記載のとおり） <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	③ 部分払	<input checked="" type="checkbox"/> 有（工期中 1 回以内） <input type="checkbox"/> 無	
	④ 瑕疵担保	施主への引渡しの日から 2 年間 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	⑤ 工事費内約明細書	<input type="checkbox"/> 要（契約締結後 日以内に提出） <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
	⑥ 工程表	<input type="checkbox"/> 要（契約締結後 日以内に提出） <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
	⑦ その他	支払方法：指定口座へ振り込み	
〈 添付資料 〉 項目別注文内容書、見積書、安全衛生基本誓約書			

上記について、工事下請基本契約書または工事下請負契約約款を順守し、請負いたします。

平成 29 年 2 月 21 日

〈 請 負 者 〉 住 所 東京都
会 社 名
代 表 者 名

代表取締役



印 紙
(税額
4,000 円

工 事 下 請 負 基 本 契 約 書

日本メックス株式会社（以下「甲」という。）

と請負人株式会社〇〇〇〇（以下「乙」という。）

は、甲が受注した工事（以下「本工事」という。）を完成するため、本工事の一部について、次の条項に基づいて、工事下請負基本契約を締結する。

第 1 条 個別契約は、工事内容その他必要事項を記載した注文書を甲が乙に発行し、乙から甲に注文請書を提出することにより成立する。

また、添付の工事下請負契約約款は、個別契約の基本となる事項を定めたものである。

第 2 条 本工事下請負基本契約書の契約期間は、平成 28 年 9 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までとする。

ただし、期間満了 3 ヶ月前までに甲乙いずれからも書面による解約の意思表示がないときは、満了日の翌日から起算して、更に向こう 1 ヶ年間効力を有し、以後も同様とする。

本工事下請負基本契約書を締結した証として、本書 2 通を作成し、甲及び乙が記名押印のうえ各自 1 通を保有する。

平成 28 年 8 月 31 日

(甲) 住 所 東京都中央区入船三丁目 6 番 3 号
社 名 日本メックス株式会社
代表者 常務取締役 エンジニアリングサービス本部長 小泉 幸秀

(乙) 住 所
社 名
代表者

工事下請負契約約款目次

第 1 条	総 則	1
第 2 条	関係法令の遵守等	1
第 3 条	安全及び衛生の確保	1
第 4 条	秘密情報の定義	2
第 5 条	秘密保持義務及び秘密情報の取扱い	2
第 6 条	個別契約の優先	3
第 7 条	請負代金の決定	3
第 8 条	請負代金の変更	3
第 9 条	個別契約の内容変更等	3
第10条	権利義務の譲渡禁止	3
第11条	工事用地の確保	3
第12条	関連工事の調整	3
第13条	関係事項の通知	4
第14条	意見の聴取	4
第15条	一括委託及び一括請負の禁止等	4
第16条	委託先にかかる関係事項の通知	4
第17条	官公庁への手続	5
第18条	工事完成保証人及び金銭保証人	5
第19条	甲の現場代理人	5
第20条	乙の現場代理人等	5
第21条	工事関係者に関する措置請求	6
第22条	立 会	6
第23条	工事材料及び工事用機器	6
第24条	支給材料及び貸与品等	6
第25条	条件変更等	7
第26条	仕様書等不適合の場合の修補義務、破壊検査等	7
第27条	甲の請求による工期の短縮	7
第28条	乙の請求による工期の延長	7
第29条	完成検査	8
第30条	成果物の受領	8
第31条	請負代金の支払	8
第32条	遅延利息	8
第33条	賃金等の立替払	8
第34条	請負代金との相殺及び遅延利息	9
第35条	履行遅滞の場合における延滞金	9
第36条	事業経営内容等の報告	9
第37条	臨機の措置	9
第38条	一般的損害	9
第39条	第三者等に発生した損害	10
第40条	天災その他不可抗力による損害	10

第41条	瑕疵担保責任	10
第42条	完成前使用	11
第43条	前払金	11
第44条	部分完了払	11
第45条	乙による本工事の中止	11
第46条	甲による基本契約の解除	12
第47条	甲による個別契約の解除	13
第48条	本工事中止後の個別契約の解除	13
第49条	乙による個別契約の解除	13
第50条	報告・通報	14
第51条	解除に伴う乙の措置義務	14
第52条	火災保険等	14
第53条	書面主義	14
第54条	協 議	14
第55条	紛争の解決	15

工 事 下 請 負 契 約 約 款

(総 則)

- 第1条 甲と発注者との契約にかかる工事その他発注者より依頼を受けた他の業者からの依頼に基づく工事（以下「本工事」という。）を完成するため、本工事の一部について、甲が発注し、乙が受注する工事に關し、別に締結する工事下請負基本契約及び個別の契約（以下「個別契約」という。）につき、工事下請負契約約款（以下「本契約約款」という。）は、基本となる事項を定める。
2. 甲及び乙は、個別契約について、信義に従い、一致協力して誠実にこれを履行しなければならない。
3. 乙は、甲の請求があったときは、契約締結後速やかに仕様書等（仕様書、図面及びその他の図書を含む。以下同じ。）に基づき工事費内訳明細書及び工事日程表を作成し、甲に提出しなければならない。
4. 甲及び乙は、個別契約の履行に際し、工事下請負基本契約書（以下「基本契約書」という。）、個別契約書類（注文書、注文請書及び依頼書並びに変更注文書、変更請書及び変更依頼書をいう。以下同じ。）及び仕様書等に従わなくてはならない。
5. 前項の仕様書等は、甲が乙に貸与するものとし、乙は工事が完成するなどこれが不要となったときは、速やかに甲に返還する。
6. 基本契約書、個別契約書類及び仕様書等に特別に定めがある場合を除き、本工事の実施に必要な方法については、乙の責任において定める。
7. 仕様書等に明示されていない事項については、甲乙協議して定める。

(関係法令の遵守等)

- 第2条 甲及び乙は、基本契約及び個別契約の履行にあたり、建設業法、労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、職業安定法、個人情報保護法及び関係ガイドラインその他の関係法令を遵守するとともに、事業主としての義務の一切を履行する。
- また、これらの関係法令に基づく監督官公庁の行政指導があったときは、これに従う。
2. 甲は、乙に対し、前項の監督官公庁の行政指導に基づき必要な指示及び指導を行い、乙は、これに従わなければならない。
3. 乙は、雇用者、使用者として、第1項の責任のもと、従業員を管理し、甲に対して責任を及ぼさない。

(安全及び衛生の確保)

- 第3条 乙は、本工事の実施にあたり、事業者として本工事の従事者の災害防止に万全を期さなければならない。
2. 乙は、災害防止のため、甲の安全衛生管理の方針並びに安全衛生管理計画を遵守するとともに、自ら作業基準を確立し、かつ、責任体制を明確にする。
3. 乙は、その被用者又は乙の下請負人の被用者の業務上の災害補償について、労働基準法第87条第2項に定める使用者としての責を負う。なお、労働災害補償保険（以下「労災保険」という。）の取扱いについては、以下のとおりである。
- (1) 甲が加入する労災保険による。
- ただし、乙若しくはその被用者又は乙の下請負人若しくはその被用者の責による労災保険に定める不正支給、故意又は重大な過失による事故等にかかる徴収金の事業主負担分については、

乙がこれを負担する。

- (2) 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第8条第2項の定めにより、労働者災害補償保険法による補償について、乙を事業主とする認可を受けた場合は、乙が加入する労災保険による。

(秘密情報の定義)

- 第4条 基本契約及び個別契約に関する秘密情報とは、書類（電子媒体によるものを含む。）又は口頭若しくは視覚により開示又は提供される情報等の一切が含まれる。
- ただし、以下の情報は、秘密情報から除かれる。なお、口頭又は視覚により開示された場合は、開示後書面にて開示の有無及び内容を確認したものに限り、秘密情報として取扱う。
- (1) 開示のときにおいて公知であり、又は自己の責によることなく、若しくは本契約及び個別契約の定め反することなくその後公知となった情報
- (2) 開示されたとき、自己が既に知得していたことを証明できる情報
- (3) 開示後、守秘義務を負うことなく第三者から適法に入手し又は入手する情報
- (4) 秘密情報を使用することなく独自に創出したものであることを証明できる情報
- (5) 秘密保持義務を課することなく第三者に開示した情報
2. 前項の規定にかかわらず、個人情報の保護に関する法律（平成十五年法律第五十七号）における「個人データ」に該当する情報については、秘密情報に該当するものとする。

(秘密保持義務及び秘密情報の取扱い)

- 第5条 乙は、事前の書面による相手方の承諾を得た場合又は法令等に基づく場合を除き、秘密情報をいかなる第三者に対しても開示又は漏洩しない。
2. 乙は、本工事を実施するために必要な甲、乙の事業所又は甲及び乙の指定する事業所の中においてのみ、本工事を実施するために必要な範囲で秘密情報の取扱いを実施し、自己の従業員に対し、本工事を通じて知り得た秘密情報の持ち出し、漏洩又は盗用を行わせないために必要な指導・措置を行う。
3. 乙は、基本契約及び個別契約の目的の範囲内で秘密情報を使用するものとし、それ以外の目的で秘密情報の加工、利用、改ざん等を行ってはならない。
4. 乙は、安全管理上必要なバックアップを目的とするもの等、基本契約及び個別契約の目的の範囲内のものを除き、秘密情報の複写又は複製を行わない。
5. 乙は、基本契約及び個別契約が期間満了又は解除により終了した場合若しくは甲から秘密情報の返還を求められた場合には、当該秘密情報の使用を直ちに中止し、受領した秘密情報（前項に基づき複写又は複製したものを含む。）を速やかに甲に返還する。
- ただし、返還に代えて廃棄処分することを甲が指示した場合には、再利用を防ぐため厳重なる注意をもって廃棄するものとし、事後に処分結果を報告する。
6. 乙は、本工事を実施するにあたり、情報管理責任者の設置、本工事の遂行に従事する者の限定、情報管理の徹底等、秘密情報の安全管理措置を実施する。なお、従業員の異動等の際は、速やかに管理情報を変更し、派遣社員等、自己の社員就業規則によらない者については、本工事に関する守秘義務を文書にて確認する。
7. 乙は、甲から受領した秘密情報を厳重に管理すると共に、秘密情報の管理の徹底を図るため、社員就業規則の整備、社内監査の必要な措置を講じ、その実施に努めなければならない。
8. 甲は、乙に対し秘密情報が適切に取扱われているか監督するために、事前に乙の承諾を得て必要に応じて調査できる。
9. 乙は、本工事を実施するにあたり、秘密情報が外部へ漏洩したこと、又は漏洩した可能性を認

知した場合は、速やかに甲に対し状況を報告する。

10. 乙は、自己又は乙の下請負人（請負が数次にわたるときは、その全てを含む。）の故意又は過失により、本工事を遂行するにあたり、秘密情報が外部へ漏洩したことにより甲又は第三者に生じた損害については、賠償の責を負う。
11. 前条及び本条の規定は、基本契約及び個別契約が終了後も効力を有する。

（個別契約の優先）

第6条 個別契約において、基本契約と異なる条項を定めたときは、個別契約に従う。

（請負代金の決定）

第7条 個別契約の請負代金は、甲乙協議のうえ決定する。

2. 甲は、前項の請負代金に対して、関係法令で定められた割合で計算し、円未満の端数を切り捨てた額を付加して乙に支払う。

（請負代金の変更）

第8条 甲及び乙は、次の各号の一にあたるときは、相手方に対して請負代金の変更を求めることができる。この場合、請負代金の変更をするときは、甲乙協議のうえ決定する。

- （1）本工事の追加又は内容の変更を行ったとき。
- （2）工期の変更があったとき。
- （3）工期内に予期することができない法令の改廃があり、又は経済事情の特別な変動により、賃金又は物価に著しい変動を生じ、請負代金が明らかに不適當となったとき。

（個別契約の内容変更等）

第9条 個別契約の内容を変更する際には、甲乙協議してこれを定め、変更注文書、変更請書又は変更依頼書を発行、受領及び提出する。

ただし、請負代金又は工期等の重要事項の変更がなく、甲及び乙に特段の支障がない場合には、この限りでない。

（権利義務の譲渡禁止）

第10条 乙は、基本契約及び個別契約によって生じる権利及び義務の全部又は一部を第三者に譲渡し若しくは承継させてはならない。

2. 乙は、本工事の完成に必要な資材や工事材料等を、売却、貸与、又は抵当権その他の担保の目的に供してはならない。

ただし、あらかじめ甲の書面による承諾を得た場合は、この限りでない。

（工事用地の確保）

第11条 甲は、乙が本工事を行うために必要とする土地（以下「工事用地」という。）を、乙が本工事の施工上必要とする日（個別契約書又は仕様書等に定めのあるときは、その定められた日）までに確保するように努める。

（関連工事の調整）

第12条 甲は、乙が施工する工事と、甲が自ら施工する工事又は甲の発注にかかる第三者の施工する工事及び第三者が施工する工事又は第三者の発注にかかる工事とが施工上関連する場合におい

て、必要があるときは、それらの工事（以下「関連工事」という。）の施工につき調整を行う。

2. 前項の場合において、乙は、甲の調整に従い、関連工事の円滑な施工に協力する。
3. 乙は、関連工事の施工者と緊密に連絡及び調整を図り、当該工事の円滑な完成に協力する。

（関係事項の通知）

第13条 乙は、甲に対して本工事に関し、次の各号に掲げる事項を個別契約締結後遅滞なく書面をもって通知する。

- （1）建設業の許可業種及び番号
 - （2）現場代理人及び主任技術者の氏名
 - （3）雇用管理責任者及び安全管理者の氏名
 - （4）その他施工上法律で置くことを義務づけられた有資格者等の氏名
 - （5）雇用保険、健康保険及び厚生年金保険の加入状況
 - （6）工事現場において使用する一日あたりの平均作業員数
 - （7）工事現場において使用する作業員に対する賃金の支払方法
 - （8）瑕疵担保責任の履行に関して講ずべき保証保険契約の締結その他の措置に関する定めをするときは、その内容
 - （9）その他甲が工事の適正な施工を確保するため必要と認めて指示する事項
2. 乙は、甲に対して前項各号に掲げる事項について変更があったときは、遅滞なく書面をもってその旨を通知する。

（意見の聴取）

第14条 甲は、施工上の工程の詳細及び作業方法等を定めるにあたり、あらかじめ乙の意見を聴取する。

（一括委託及び一括請負の禁止等）

第15条 乙は、本工事について、全部又はその主要な部分を一括して第三者に委託し又は請け負わせてはならない。

ただし、あらかじめ発注者及び甲（以下総称して「委託者」という。）の書面による承諾を得た場合には、この限りでない。

2. 共同住宅を新築する建設工事については、前項ただし書の規定は適用しない。
3. 第1項ただし書の委託者の書面による承諾にあたって、乙は、秘密情報の管理及び保護について必要なセキュリティ体制を有する委託先を選定し、あらかじめ委託者に対し、委託先、委託期間、委託業務の内容、委託先に提供する秘密情報、委託先での秘密情報に関する管理措置等について文書をもって報告し、委託者の承諾を得なければならない。
4. 乙は、第5条に規定する乙の義務を委託先にも課し、当該委託先への管理及び監督を行う。
5. 乙は、委託者に対し、委託先のすべての行為及び結果についての責を負う。
6. 本条の規定は、乙の委託先が再委託（その後の再委託も同様とする。）した場合についても準用する。

（委託先にかかる関連事項の通知）

第16条 乙は、前条第1項ただし書の規定により、委託者の書面による承諾を得た場合は、委託者に対し、次の各号に掲げる事項を遅滞なく書面をもって通知する（工事が数次の契約によって行われるときは、そのすべての契約を含む。）。

- （１）委託先の氏名及び住所（法人であるときは名称及び工事を担当する営業所の所在地）
- （２）建設業の許可業種及び番号
- （３）現場代理人及び主任技術者の氏名
- （４）雇用管理責任者及び安全衛生管理者の氏名
- （５）施工上法律で置くことを義務づけられた有資格者等の氏名
- （６）工事の種類及び内容
- （７）雇用保険、健康保険及び厚生年金保険の加入状況
- （８）委託先が工事現場において使用する一日あたりの平均作業員数
- （９）委託先が工事現場において使用する作業員に対する賃金の支払方法
- （１０）その他委託者が工事の適正な施工を確保するため必要と認めて指示する事項

２．乙は、委託者に対して前項各号に掲げる事項について変更があったときは、遅滞なく書面をもってその旨を通知する。

（官公庁への手続）

第１７条 乙は、個別契約の履行に関し、官公庁その他に対して必要な手続きを講じなければならない。ただし、甲が関係法令等に基づき直接行うものについては、この限りでない。

（工事完成保証人及び金銭保証人）

第１８条 注文書、注文請書において工事完成保証人を定めている場合は、乙は、自己に代わって自ら工事を完成することを保証するため、甲の認める他の建設業者を工事完成保証人として立てなければならない。

- ２．前項の規定により乙が工事完成保証人を立てる義務があるとき、工事完成保証人に代えて金銭保証人を立てる旨の申入れが乙から甲に対してなされたときには、甲の判断により、これを認めるか否かを決定することができる。

（甲の現場代理人）

第１９条 甲は、自己に代わって工事現場を統括し、乙を指揮及び監督するとともに関連工事との調整を図り本工事を円滑に完成するため現場代理人（建設業法第１９条の２第１項に規定する現場代理人をいう。以下同じ。）を置くときは、その氏名を乙に通知する。

２．乙が本工事の実施に必要な指示、検査、立会、承認等を甲に求めたときは、甲の現場代理人は速やかにこれに応じる。

（乙の現場代理人等）

第２０条 乙は、本工事の実施にあたり、現場代理人並びに主任技術者（建設業法第２６条第１項に規定する技術者をいう。以下同じ。）を定め、書面をもってその氏名を甲に通知しなければならない。現場代理人又は主任技術者を変更したときも同様とする。

なお、主任技術者は、現場代理人を兼ねることができる。この場合、それぞれの立場について定められている責を負う。

- ２．前項の現場代理人は、本工事の実施にあたり、工事現場に常駐し、その運営及び監理を行い安全の確保を図るほか、基本契約及び個別契約に基づく乙の一切の権限（請負代金の変更、請負代金の請求及び受領並びに基本契約及び個別契約の解除にかかるものを除く。）を行使することができる。ただし、工事現場の取締、安全衛生、災害防止又は就業時間など工事現場の運営及び監理に関する重要な事項については、甲に通知する。

- ３．乙は、前項の規定にかかわらず、自己の有する権限のうち、これを現場代理人に委任せず自ら行使しようとするものがあるときは、あらかじめ当該権限の内容を、書面をもって甲に通知しなければならない。

（工事関係者に関する措置請求）

第２１条 甲は、現場代理人、主任技術者その他乙が本工事の実施のために使用している下請負人、作業員等で本工事の運営又は管理につき著しく不相当と認められる者があるときは、乙に対して、その事由を明示した書面をもって必要な措置を請求することができる。

- ２．乙は、前項の請求があったときは、当該請求にかかる事項について決定し、その結果について、請求を受理した日の翌日から１０日以内に書面をもって甲に通知しなければならない。
- ３．乙は、甲の現場代理人等でその職務の執行につき著しく不相当と認められる者があるときは、甲に対して、その事由を明示した書面をもって必要な措置をとるべきことを請求することができる。
- ４．甲は、前項の請求があったときは、当該請求にかかる事項について決定し、その結果について、請求を受理した日の翌日から１０日以内に書面をもって乙に通知しなければならない。

（立 会）

第２２条 乙は、地中又は水中の工事、その他施工後外から見ることでできない工事を施工するときは、甲の現場代理人等の立会を求めなければならない。ただし、甲の現場代理人等の立会が出来ない場合の施工方法等については、甲乙協議して定める。

（工事材料及び工用機器）

第２３条 乙は、仕様書等に明示されているもの又は甲の現場代理人等が認めた工事材料を使用しなければならない。甲の現場代理人等は、工用機器について不相当であると認めたときは、理由を伝え、乙に対して、その交換を求めることができる。

- ２．乙は、工事現場に搬入した工事材料又は工用機器を工事現場外に持ち出すときは、甲の現場代理人等の承諾を得なければならない。
- ３．甲の現場代理人等が、第１項所定の工事材料でない不合格工事材料又は不相当であると認めた工用機器については、甲の現場代理人等の指示により乙がこれを引き取らなければならない。
- ４．工事材料のうち仕様書等にその品質が明示されていないものについては、甲乙協議して定める。

（支給材料及び貸与品等）

第２４条 本工事の実施にあたり甲から乙へ支給する工事材料（以下「支給材料」という。）及び貸与する建設機械機具（以下「貸与品」という。）の品名、数量、規格、性能及び引渡場所は、仕様書等に定めるところにより、その引渡時期は甲の指示による。

- ２．甲は、あらかじめ甲の検査又は試験に合格した支給材料又は貸与品を支給し、乙は、当該甲の検査又は試験に立会うことができる。
- ３．乙は、支給材料又は貸与品の引渡しを受けたときは、遅滞なく甲に受領書又は借用書を提出する。
- ４．乙は、支給材料又は貸与品が仕様書等の定めと異なり、又は使用に適当でないと認めたときは、遅滞なくその旨を甲に通知し、甲は、それを承認した場合は、当該支給材料又は貸与品に代えて他の支給材料又は貸与品を引渡す。
- ５．乙は、支給材料又は貸与品を善良な管理者の注意をもって保管し、乙の故意又は過失によって支給材料又は貸与品が滅失、若しくは毀損し又はその返還が不可能となったときは、甲の指定した期間内に原状に復し、若しくは代品を納め又はその損害を賠償する。

6. 乙は、支給材料又は貸与品の使用方法が仕様書等に明示されていないときは、甲の指示に従う。
7. 乙は、不要となった支給材料及び貸与品又は工事により生じた撤去品を、仕様書等の定め又は甲の指示により、甲に返還、引渡等を行い、仕様書等に第三者への売却の指示があるものはそれに従う。

（条件変更等）

- 第25条 乙は、本工事の実施にあたり、次の各号の一に該当する事実を発見したときは、直ちに書面をもってその旨を甲の現場代理人に通知し、その確認を求めるとともに、甲の現場代理人の指示に従い、必要な措置を講ずる。
- （1）仕様書等と工事現場の状態が一致しないとき。
 - （2）仕様書等の表示が明確でないとき、図面と仕様書等が一致しないとき、仕様書等の誤謬もしくは脱漏等により表示が明確でないとき。
 - （3）工事現場の地質、湧水等の状態及び施工上の制約等、仕様書等に示された自然的又は人為的な施工条件が実際と相違するとき。
 - （4）仕様書等に明示されていない施工条件について、予期することのできない特別の状態が生じたとき。
2. 前項の規定により、工事内容の変更又は仕様書等の訂正を行った結果、工期又は請負代金を変更する必要があると認められたときは、第8条の規定を準用する

（仕様書等不適合の場合の修補義務、破壊検査等）

- 第26条 乙は、本工事の実施が個別契約又は仕様書等に適合しない場合において、甲がその修補を請求したときは、これに従わなければならない。この場合、当該修補に要する費用は、乙の負担とする。
2. 前項において、甲は、本工事の実施が個別契約又は仕様書等に適合しない恐れがあり、かつ、必要があると認められたときは、本工事の実施部分を破壊して検査することができる。なお、当該検査及び破壊部分の復旧に要する費用は、乙の負担とする。
- ただし、破壊検査の結果、個別契約及び仕様書等に適合している場合は、当該破壊検査及び破壊部分の復旧に要する費用の負担については、甲乙協議のうえ決定する。
3. 甲の責に帰すべき事由により、前2項の事由が生じたときには、当該修補費用、当該検査費用及び当該破壊部分の復旧に要する費用は、甲の負担とする。
- ただし、乙の責に帰すべき事由も認められるときには、前記各費用の負担については、甲乙協議のうえ決定する。

（甲の請求による工期の短縮）

- 第27条 甲は、特別の理由により工期を短縮する必要があるときは、乙に対し書面をもって工期の短縮を求めることができる。この場合における短縮日数は、甲乙協議して書面をもって定める。
2. 前項の場合において、必要があると認められるときは、甲乙協議して請負代金を変更する。この場合、第8条の規定を準用する。

（乙の請求による工期の延長）

- 第28条 乙は、天災地変その他乙の責に帰すことができない事由により、個別契約で定める工期の期間内に工事を完了できないときは、甲に対し遅滞なく書面によりその事由を付して工期の延長

を求めることができる。

2. 前項の場合、延長日数その他必要な事項は、甲乙協議して書面をもって定める。

（完成検査）

- 第29条 甲は、乙から本工事の完成通知を受けた日から20日以内に乙の立会のもとに検査を行い、検査に合格しているときには、その旨を乙に通知する。
2. 本工事のうち、引渡しを要する工事にあつては、前項所定の検査合格通知日をもって引渡完了日とする。引渡しを要しない工事にあつては、前項所定の検査合格通知日をもって工事完成確認日とする。
3. 乙は、甲による第1項所定の検査に合格しないときには、速やかに修補して甲の再検査を受けなければならない。
4. 前項所定の甲による再検査については、第1項及び第2項の規定を準用する。
5. 本条の規定は、本工事の部分完成についても準用する。

（成果物の受領）

- 第30条 甲は、本工事の目的物以外の甲による指示、要請のもとに乙が作成した物、図面その他の有体物（電子媒体によるものを含む。）（以下「成果物」という。）を甲に提出するよう乙に要求することができる。
2. 甲は、乙から成果物の提出があつたときは、その内容を確認のうえ、受領した旨を乙に通知する。この場合、甲による確認をもって検査に代えることができる。これにより、成果物については引渡しがあつたものとし、当該通知日をもって成果物の引渡完了日とする。
3. 甲は、成果物の内容に疑問があるときには、その理由を遅滞なく乙に通知するものとし、その措置については、甲乙協議して定める。

（請負代金の支払）

- 第31条 請負代金は、第29条及び第30条所定の引渡完了日又は工事完成確認日から起算して50日以内に支払う。

（遅延利息）

- 第32条 甲の責に帰すべき事由により、前条所定の請負代金が支払期間内に支払われなかったときは、乙は、支払期日の翌日から支払日までの日数に応じ、支払遅延額に対し年14.6%の割合で計算した額を遅延利息として請求することができる。
2. 甲は、支払請求書を受領した後、天災地変その他甲の責に帰すことができない事由により、前条所定の期間内に支払を完了することができないときは、乙に対し遅滞なくその事由を付して同期間の延長を求めることができるものとし、その延長日数は、甲乙協議して書面をもって定める。
3. 第1項の規定により計算した遅延利息の額に円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。

（賃金等の立替払）

- 第33条 乙又は乙の下請負人が、賃金、材料代等を支払わないときは、甲は、乙に対し当該金員を支払うよう勧告する。
2. 甲から乙に対する前項の勧告がなされても、乙が当該金員を支払わないとき又は前項の勧告をすることができない場合は、甲は、乙又は乙の下請負人の作業員、納入業者等からの書面による申出により、乙の同意を得ることなくこれを立替払することができる。ただし、請負代金の額を上限と

する。

3. 甲は、前項の規定によって、立替払したときは、乙の同意を得ることなく、これを乙に対する立替金として処理することができる。

（請負代金との相殺及び遅延利息）

- 第34条 甲は、乙に対する金銭債権があるときには、乙に支払う請負代金と相殺することができる。
- この場合において、相殺後、甲の乙に対する残余の金銭債権があるときは、乙は、その残額を、甲からの請求により支払わなければならない。
2. 乙が甲に対する金銭債務の支払を怠ったときは、甲は、乙に対し、支払期日の翌日から支払日までの日数に応じ、支払遅延額に対し年14.6%の割合で計算した額を遅延利息として請求することができる。この場合、第32条第2項及び同条第3項の規定を準用する。

（履行遅滞の場合における延滞金）

- 第35条 乙が、その責に帰すべき事由により個別契約に定めた工期内に本工事を完成することができない場合において、工期経過後相当の期間内において完了する見込みのあるときは、甲は、乙から延滞金を徴収して工期を延長することができる。
2. 前項の延滞金は、延滞日数1日につき、請負代金額から出来高部分に対する請負代金相当額を控除した額の10,000分の4に相当する額とする。
3. 前項の延滞日数の計算は、工期満了の翌日から第29条及び第30条所定の引渡完了日又は工事完成確認日までとする。
- ただし、第29条第1項所定の甲による検査の期間は、これに算入しない。
4. 第2項の規定により算出した延滞金の額が100円未満であるときは、延滞金を支払うことを要せず、その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。

（事業経営内容等の報告）

- 第36条 甲は、必要があると認めたときは、乙に対して事業経営の内容等について報告を求めることができる。

（臨機の措置）

- 第37条 乙は、本工事の実施にあたり、災害防止等のために特に必要と認めるときは、あらかじめ甲の意見を聞いて臨機の措置を講じなければならない。
- ただし、緊急やむを得ない事情があるときは、乙は、自らの判断により、必要な措置を講じる。
2. 前項の場合において、乙は、講じた措置の内容を速やかに甲に通知しなければならない。
3. 甲は、災害防止、故障の発生、その他本工事の実施上特に必要があると認めたときは、乙に対して臨機の措置を求めることができる。
4. 乙が第1項又は前項の規定により臨機の措置を講じた場合において、当該措置に要した費用のうち、乙が請負代金の範囲内において負担することが適当でないと認められる部分については、甲乙協議のうえ甲の負担額を決定する。

（一般的損害）

- 第38条 本工事の引渡完了日又は工事完成確認日前に本工事の出来高部分、成果物又は工事・保守等に使用する材料について生じた損害は、第40条所定の場合を除き乙の負担とする。

ただし、当該損害のうち甲の責に帰すべき事由により生じたものについては、甲がこれを負担する。

（第三者等に発生した損害）

- 第39条 乙は、本工事の実施にあたり甲又は第三者に対して損害を与えるおそれがあるときは、必要な予防措置を講じるものとし、その措置に必要な費用は、乙の負担とする。
2. 乙は、本工事の実施によって、甲又は第三者に損害を及ぼしたときは、当該損害を賠償する。
- ただし、本工事の実施に伴い通常避けることができない理由により生じた損害については、この限りでない。
3. 甲は、乙が本工事を実施する際、甲の責に帰すべき事由により乙又は第三者に損害を及ぼしたときは、当該損害を賠償する。
4. 本工事の実施によって、第三者との間に紛争が生じた場合には、甲乙協議してその処理解決にあたる。

（天災地変その他不可抗力による損害）

- 第40条 天災地変その他不可抗力により、甲、乙いずれにもその責に帰することができない事由によって、本工事のうち出来高部分、工事材料、工事仮設物、成果物又は建設機器機具等に損害が生じたときは、乙は、その事実の発生後遅滞なくその状況を書面により甲に通知する。
2. 甲は、前項の規定による通知を受けたときは、直ちに調査を行い、前項の損害の状況を確認し、その結果を書面により乙に通知する。
3. 前項の規定により損害の状況が確認されたときは、甲乙協議して重大と認められたものは、甲に対して書面をもって当該損害額の負担を請求することができる。
4. 前項の規定により、乙から損害額の負担の請求があったときは、当該損害額のうち、本工事のうち出来高部分に関する損害、現場搬入済みの工事材料に関する損害及び工事仮設物又は建設機器機具に関する損害について、請負代金額の100分の1を超える金額のうち、甲乙協議により定められた金額を甲は負担する。
- ただし、損害を生じた工事仮設物又は建設機器器具がリース物品の場合には、乙が当該リース契約に基づきリース会社と協議のうえ決定した、乙のリース会社に対する損害負担額をもって損害額とする。
5. 火災保険・地震保険・建設工事保険その他損害を填補するものがあるときは、それらの額を前項の甲の負担額から控除する。

（瑕疵担保責任）

- 第41条 本工事に瑕疵があるときは、甲は、乙に対して書面により、相当の期間を定めてその瑕疵の修補を請求し、または修補に代え、若しくは修補と共に損害の賠償を請求することができる。
- ただし、瑕疵が重要でなく、かつ、その修補に過分の費用を要するときは、甲は、修補を請求することができない。
2. 甲が前項により修補を求めたにもかかわらず、乙が甲の指定する期日までに修補を完了させないことが明らかであるときは、甲は、自ら修補するか、又は第三者に修補させることができる。この場合、乙は、当該費用を負担する。
3. 第1項の規定による瑕疵の修補又は損害賠償を請求することのできる期間は、本工事の引渡完了日又は工事完成確認日から2年間（木造については1年間）とする。
- ただし、その瑕疵が乙の故意又は重大な過失によって生じた場合については、当該請求できる期

間は10年間（木造については5年間）とする。

4. 本工事の全部又はその一部が、住宅の品質確保の促進等に関する法律（以下「品確法」という。）第2条第1項に定める住宅（以下「住宅」という。）の新築工事に該当し、かつ、品確法第94条第1項に基づき政令で定める住宅の構造耐力上主要な部分又は雨水の浸入を防止する部分を含む場合は、この部分の瑕疵（構造耐力上主要な部分又は雨水の浸入に影響のないものを除く。）については、前項の規定にかかわらず、その瑕疵担保期間は、引渡完了日から10年間とする。
5. 前2項の瑕疵担保期間より長期の期間とするときは、個別契約に特記する。
6. 本工事の瑕疵により本工事の目的物が滅失又は毀損したときは、甲は、第3項ないし第5項に定める期間内で、かつ、その滅失又は毀損の日から6ヶ月以内に限り第1項の権利を行使することができる。
7. 第1項の規定は、本工事の瑕疵が支払材料の性質又は甲の指示等により生じたものであるときは、これを適用しない。
ただし、乙が支給材料の性質又は甲の指示等が不適当であることを知りながら、これを甲に通知しなかったときは、この限りでない。

（完成前使用）

- 第42条 甲は、本工事の完成前においても、本工事の全部又は一部を乙の同意を得て使用することができる。
- ただし、乙は、必要があるときは、甲の同意を得て、その使用中止を求めることができる。
2. 甲は、前項の使用部分を善良な管理者の注意をもって使用するものとし、当該使用によって乙に損害を及ぼした場合は、これを賠償する。

（前払金）

- 第43条 甲が発注者より前払金を受領した場合、資材の購入、その他本工事の着手に必要な乙の資金につき、甲は乙からの請求に応じ前払金を支払うことができる。

（部分完了払）

- 第44条 乙は、個別契約に定めがある場合には、本工事の完成前に部分完了払を請求することができる。
2. 甲は、前項の請求があったときは、遅滞なく本工事の検査を行い、検査の結果を乙に通知しなければならない。この場合、第29条及び30条の規定を準用する。
 3. 乙は、本工事につき出来高の検査に合格したときは、工事の出来高部分及び第23条第1項所定の工事材料等（以下「調達材料」という。）で甲の承認しているものにかかる費用のうち、請負代金額から第43条所定の前払金を控除した残額の10分の9以内（100円未満切り捨て）の金額を甲に請求することができる。
ただし、この請求は個別契約に定めた範囲内で行わなければならない。
 4. 前項所定の出来高部分及び乙の調達材料等の金額については、内訳明細書等により算定するものとする。
 5. 本条の規定による甲から乙への支払については、第31条の規定を準用する。

（乙による本工事の中止）

- 第45条 天災地変その他甲及び乙の責に帰することができない事由が生じた場合には、乙は、本工事を中止することができる。

2. 甲が、第44条所定の部分完了払を遅延し、乙が相当の期間を定めて催告しても支払わないときは、乙は、本工事を中止することができるものとし、この場合、第49条第2項の規定を準用する。
3. 前2項において、甲は、乙が本工事の続行に備え、工事現場を維持し又は作業員、工事用機器等を保持するために支出した費用及び本工事の中止に伴う乙の損害を補償しなければならない。この場合、補償額は、甲乙協議して定める。

（甲による基本契約の解除）

- 第46条 乙が次の各号の一に該当するときは、甲は、乙に対し、何らの催告を要せずに乙との基本契約を解除することができる。
- (1) 差押、仮差押、仮処分、公売処分、租税滞納処分、その他公権力の処分を受け、又は会社更生手続、民事再生手続若しくは破産その他倒産手続の開始申立がなされたとき、又は乙自ら同倒産手続の開始申立をしたとき。
 - (2) 自ら振出し、若しくは引き受けた手形又は小切手が不渡りになったときその他支払停止状態に至ったとき。
 - (3) 監督官公庁から営業停止又は免許若しくは登録の取消の処分を受けたとき。
2. 乙が、次の各号の一に該当するときは、甲は、乙に対し、何らの催告を要せずに乙との基本契約を解除することができる。
 - (1) 暴力団
 - (2) 暴力団員
 - (3) 暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者
 - (4) 暴力団準構成員
 - (5) 暴力団関係企業
 - (6) 総会屋等
 - (7) 社会運動等標榜ゴロ又は特殊知能暴力集団等
 - (8) 上記第1号から第7号に掲げる者に準ずる者
 - (9) 乙が基本契約の締結時に行った表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合
 - (10) 次のいずれかに該当する場合
 - ①上記第1号から第8号に該当する者（以下「暴力団員等」という。）が乙の経営を支配していると認められるとき。
 - ②暴力団員等が乙の経営に実質的に関与していると認められるとき。
 - ③乙が自己若しくは第三者に不正な利益を図る目的又は第三者に危害を加える目的をもって行うなど、不当に暴力団員等を利用していると認められるとき。
 - ④乙が暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められるとき。
 - ⑤乙の役員又は乙の経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難される関係を有しているとき。
 3. 乙が自ら又は第三者を利用して、次の各号の一に該当する行為をしたときは、甲は、乙に対し、何らの催告を要せずに乙との基本契約を解除することができる。
 - ①暴力的な要求行為があったとき。
 - ②法的な責任を超えた不当な要求行為があったとき。
 - ③取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いたとき。
 - ④風説を流布し、偽計又は威力を用いて甲の信用を毀損し、又は甲の業務を妨害したとき。
 - ⑤その他第1号から第4号に準ずる行為があったとき。

（甲による個別契約の解除）

第47条 乙が、次の各号の一に該当するときは、甲は、乙との個別契約を解除することができる。

- （１）正当な理由がないのに、本工事に着手すべき時期を過ぎても、本工事に着手しないとき。
- （２）乙の責に帰すべき理由により、工期内に本工事の完了の見込みがないと認められるとき。
- （３）乙の責に帰すべき事由により、本工事の全部又は一部を実施しなかったとき。
- （４）本工事の実施が著しく不誠実と認められるとき又は本工事を履行する意思がないと認められるとき。
- （５）本工事の実施にあたり、不正又は不当な行為を行ったとき。
- （６）前各号のほか、個別契約に違反したとき。

２．第46条の規定は、甲と乙との個別契約に準用する。

３．第1項の規定により個別契約を解除した場合は、甲は、乙に対し、請負代金の100分の10に相当する違約金を請求することができる。この違約金の請求は、当該違約金を超える損害が発生した場合に、甲が乙に対してその超過した損害の賠償を請求することを妨げない。

また、第2項で準用する第46条第2項又は第3項の規定により個別契約を解除した場合は、甲は、乙に対し、請負代金の100分の20に相当する違約金を請求することができる。この違約金の請求は、当該違約金を超える損害が発生した場合に、甲が乙に対してその超過した損害の賠償を請求することを妨げない。

４．工期の延長を行った後に解除した場合は、前項に定める違約金のほか、解除通知をした日までの第35条所定の延滞金を別途徴収することができる。

５．第1項又は第2項により、甲が乙との個別契約を解除した場合において、本工事の出来高部分で検査に合格した部分については、請負代金のうち当該部分に対する相当額を、甲は、乙に支払う。

ただし、第46条第2項又は第3項の規定により、甲が乙との個別契約を解除した場合には、この限りでない。

（本工事中止後の個別契約の解除）

第48条 第45条の規定により、乙が本工事を中止した後、第49条第2項所定の期間を経過しても乙が個別契約を解除しないときは、甲は、乙との個別契約を解除することができる。

（乙による個別契約の解除）

第49条 第9条の規定により当該個別契約の内容が変更したために、当初の請負代金が3分の2以上減少したときは、乙は甲との個別契約を解除することができる。この場合、乙に損害が発生したときは、甲乙協議のうえ、損害の負担額を定める。

２．本工事の中止期間が工期の2分の1（工期の2分の1が6ヶ月を越えるときは6ヶ月）を、中止が工事の一部のみの場合は、その一部を除いた他の部分の工事が完了した後、工期の4分の1（工期の4分の1が3ヶ月を越えるときは3ヶ月）を経過してもなお、その中止が解除されないときは、乙は、個別契約を解除することができる。この場合、前項の規定を準用する。

３．乙が本工事を中止したにもかかわらず、甲より第45条2項所定の支払がなされないときには、乙は、甲との個別契約を解除することができる。

（報告・通報）

第50条 乙は、乙又は乙の下請負人（下請負が数次にわたるときは、そのすべてを含む。）が暴力団等

による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けたときには、断固としてこれを拒否し、又は下請負人をして断固として拒否させるとともに、不当介入があった時点で、速やかに甲にこれを報告し、甲の捜査機関への通報及び発注者への報告に必要な協力を行わなければならない。

２．乙が正当な理由なく前項に違反したときは、甲は、何らの催告を要さずに乙との基本契約及び個別契約を解除することができる。

（解除に伴う乙の措置義務）

第51条 第47条ないし第49条により個別契約が解除された場合、乙は、次項以下に定める措置をとらなければならない。

２．第24条の規定による支給材料があるときは、乙は、工事の出来高として検査に合格した部分に使用されているものを除き、これを甲に返還する。この場合において、当該支給材料が乙の故意又は過失により滅失又は毀損したとき、又は工事の出来形検査に合格しなかった部分に使用されているときは、乙は、代品を納め、若しくは修補し、又は返還に代えて損害を賠償しなければならない。

３．第24条の規定による貸与品があるときは、乙は、これを甲に返還する。この場合において、当該貸与品が乙の故意又は過失により滅失又は毀損したときは、乙は、代品を納め、若しくは修補し、又は返還に代えて損害を賠償しなければならない。

４．工事用地に、乙の所有する工事材料、建設機器機具、仮設物その他の物件（乙又は乙からの再委託先の所有に属するその他の物件並びに前2項の支給材料、貸与品のうち甲に返還しないものを含む。）があるときは、乙は、これを搬出するとともに、工事用地を原状に復して甲に明渡さなければならない。

５．前各項に規定する乙のとるべき措置の期限、方法等については、甲乙協議して定める。

６．乙が、第2項ないし第4項で定められた措置を講じないときは、甲が自ら又は第三者により当該措置を講じた後、当該措置に要したすべての費用を乙に請求することができる。

（火災保険等）

第52条 乙は、甲が求めた場合には、本工事につき、火災保険・地震保険・建設工事保険等を付さなければならない。

なお、保険金額については、甲乙別途協議のうえ定める。

２．乙は、前項の規定により保険契約を締結したときは、その証券を遅滞なく甲に提示しなければならない。

（書面主義）

第53条 本契約約款の各条項に基づく承諾、通知、指示及び請求等は、原則として書面（電磁的措置及び電磁的方法を含む。）により行う。

（協議）

第54条 基本契約及び個別契約に定めのない事項及び解釈について疑義を生じた事項については、関係法令及び商慣習によるほか、甲乙協議し、信義誠実の原則に基づき円満に解決する。

（紛争の解決）

第55条 本契約約款、基本契約及び個別契約の各条項において、甲乙協議して定めるとしたものにっ

き協議が整わない場合、その他基本契約及び個別契約に関して甲乙間に紛争が生じた場合には、甲及び乙は、建設業法による建設工事紛争審査会（以下「審査会」という。）のあっせん又は調停によりその解決をはかる。

2. 甲及び乙は、その一方又は双方が前項の審査会のあっせん又は調停により紛争を解決する見込みがないと認めたときは、前項の規定にかかわらず、甲乙双方合意のうえで、審査会の仲裁に付し、その仲裁判断に服するか、又は東京地方裁判所を第一審の合意管轄裁判所とすることに同意する。



番号 B151002433

1級技術検定合格証明書

本籍 東京都

氏名

昭和63年 月 日生

建設業法の規定に基づく平成27年度建築施工管理に関する1級の技術検定に合格したことを証し、1級建築施工管理技士と称することを認める。

平成28年 3月11日

国土交通大臣

石井 啓一



健康保険証の写し

主任技術者は工事を請け負った企業と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者でなければならない為健康保険証にて雇用関係を確認する。
また、保険加入状況も合わせて確認する。

会社名 ○△×建設株式会社



主任技術者氏名 協会 太郎



全建統一様式第5号

原則として、協力会社毎に作成する。

作 業 員 名 簿

(2020年7月16日) 作成

事業所の名称 八重洲建設株式会社丸の内ビル作業所

現場ID 45210987654321

所長名 夏川 二郎 殿

元 請 確認欄

提出日 2020年7月18日

一次会社名 大山建設株式会社

事業者ID 23456789012345

二次 会社名 株式会社山田工務店

事業者ID 34567890123456

〔退職金共済制度加入について〕 建退協・中退共
その他 ・ 無

〔退職金共済制度加入について〕 建退協・中退共
その他 ・ 無

本書面に記載した内容は、作業員名簿として、安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために元請業者に提示することについて、記載者本人は同意しています。

作業員を雇用する会社が作成し、一次の会社を通じて元請に提出する。

会社名の代わりに現場代理人名を記載してもよい。

番号	ふりがな	職 種	※	雇入年月日	生年月日	現 住 所	(TEL)	最近の健康診断日	血液型	特殊健康診断日	健康保険*1 (協会・組合・国保)	建設業退職金共済制度	教 育・資 格・免 許			入場年月日	建退共 手帳 所有 確認		
	氏 名			経 験 年 数	年 齢	家族連絡先	(TEL)	血 圧		種 類	年金保険*2 (厚生・国民)	中小企業退職金共済制度	雇入・職長 特別教育	技能講習	免 許	受入教育 実施年月日			
	建設キャリアアップシステム 技能者ID										雇用保険*3 (雇用・特労)								
1	まじま けんじ	型枠 大工	現 職 基 安 技	1979年6月10日	1961年4月20日	浦安市堀江13××	0473-56-××××	2020年4月18日	A		〇〇健康保険組合	〇	雇入時教育 職長教育	玉掛	なし	2020年7月20日	建・中		
	間島 健児			41 年	59 歳	栃木県塩谷郡藤原町滝××	02887-2-××××	116～79			厚生年金					2020年7月20日	他・無		
	00001234567890										×××-×					2020年7月20日	他・無		
2	あきた いちろう	型枠 大工	主 能	1979年9月15日	1959年3月20日	江東区大島8-××-× 当社小名木寮	03-3683-××××	2020年3月30日	B		〇〇健康保険組合	〇	雇入時教育 建設用リフト	型枠支保工の 組立て等作業 主任者	なし	2020年7月20日	建・中		
	秋田 一郎			41 年	61 歳	秋田県仙北郡田沢湖町梅沢××	01875-2-××××	156～90			厚生年金					2020年7月20日	他・無		
	00002345678901										×××-×					2020年7月20日	他・無		
3	ふくしま しろう	型枠 大工	主	1985年9月15日	1963年6月8日	江東区大島8-××-× 当社小名木寮	03-3683-××××	2020年3月30日	AB		〇〇健康保険組合	〇	雇入時教育 建設用リフト	型枠支保工の 組立て等作業 主任者	なし	2020年7月20日	建・中		
	福島 四郎			35 年	57 歳	秋田県仙北郡角館町西長野××	01875-2-××××	125～80			厚生年金					2020年7月20日	他・無		
	00003456789012										×××-×					2020年7月20日	他・無		
4	しゅう はくざん	型枠 大工	1特	2017年7月1日	1992年4月28日	江東区大島8-××-× 当社小名木寮	03-3683-××××	2020年7月2日	A		〇〇健康保険組合	〇	雇入時教育	なし	なし	2020年7月20日	建・中		
	周 伯山			3 年	24 歳	中華人民共和国山東省一××	△△△-×××-〇〇〇〇	112～78			厚生年金					2020年7月23日	他・無		
	00004567890123										×××-×					2020年7月23日	他・無		
5	グエン・カオ・トゥアン	型枠 大工	1特	2015年9月15日	1982年12月7日	江東区大島8-××-× 当社小名木寮	03-3683-××××	2020年3月30日	O		〇〇健康保険組合	〇	雇入時教育	なし	クレーン運転士	2020年7月20日	建・中		
				5 年	36 歳	鹿児島県川内市大神字山田××	09972-2-××××	120～73			厚生年金					2020年7月23日	他・無		
	00005678901234										×××-×					2020年7月23日	他・無		
6	チェ・チ・ホン	型枠 大工	1特	2018年6月15日	1994年10月5日	123 × × × st. 〇 〇 〇 Dist.2HoChiMinn	〇〇〇-×××-△△△△	2020年3月30日	B		〇〇健康保険組合	〇	雇入時教育	なし	なし	2020年7月20日	建・中		
				2 年	26 歳	321 × × × st. △△△ Dist.1Hanoi	×××-△△△-〇〇〇〇	105～80			厚生年金					2020年7月23日	他・無		
	00006789012345										×××-×					2020年7月23日	他・無		
	以下略																建・中		
																	他・無		
																	建・中		
																	他・無		
																	建・中		
																	他・無		
																	建・中		
																	他・無		

初回の名簿等提出後、新たに入場する作業員については逐次追加記入する。

・年少者（18歳未満）を使用する場合は、元請業者の作業所長は「年齢証明書」を確認する。
・その場合においても、年少者労働基準規則等により、時間外労働は制限され、危険有害業務への就労は禁止されている。
・年齢証明書は「住民票記載事項証明書」で充足できる。
[15歳未満]
満15歳に達した日以後最初の3月31日が終了するまで、土木、建築その他工作物の建設等又はその準備の事業に就労することは禁止されている。

・一般健康診断には、雇入時の健康診断と定期健康診断があり、労働安全衛生法第66条（安衛則第43条～45条）に規定されている。
・特定の有害業務（安衛法施行令第22条の業務）に従事する作業員に対し、雇入時、配置替え時及び定期に特別項目の健康診断を実施しなければならない。
・定期健康診断は就業後1年以内毎に1回受信とし、有害業務従事者は6ヶ月以内毎に1回受診しなければならない
・健康診断の法定実施期限が過ぎないように管理すること。
・元方事業者は健康状態を確認し、必要な指導を行う。所見有りの場合は、治療、配置替え等行う。
・健康診断に関する秘密の保持（労働安全衛生法第104条）実施に関して知り得た労働者の心身の欠陥その他の秘密を漏らしてはならない。
○平成17年4月1日施行「個人情報の保護に関する法律」に基づき、作業員の健康情報（健康診断の結果、病歴、その他の健康に関する情報）については、適正に取り扱うこと。

受入教育（新規入場時教育）を実施したときに記入する。

・作業員名簿は、建設業法第24条の8及び建設業法施行規則第14条の2により実質的に作成が義務づけられている。本様式では、法令による記載事項以上の記載を求めているが、災害発生時の緊急連絡先や作業員の健康状態及び教育・資格・免許等の把握等、関係請負人の確認事項であり、リスク管理上必要な事項としている。

・各作業主任者の選任にあたっては、施工する工事の内容を十分勘案して、技能講習修了者（一部免許あり）の中から選任すること。

・労働基準法第64条及び女性労働基準規則に、坑内労働・妊産婦の就労制限の業務の範囲が規定されている。

・作業員名簿は、建設業法第24条の8及び建設業法施行規則第14条の2により実質的に作成が義務づけられている。本様式では、法令による記載事項以上の記載を求めているが、災害発生時の緊急連絡先や作業員の健康状態及び教育・資格・免許等の把握等、関係請負人の確認事項であり、リスク管理上必要な事項としている。

初回の名簿等提出後、新たに入場する作業員については逐次追加記入する。

・年少者（18歳未満）を使用する場合は、元請業者の作業所長は「年齢証明書」を確認する。
・その場合においても、年少者労働基準規則等により、時間外労働は制限され、危険有害業務への就労は禁止されている。
・年齢証明書は「住民票記載事項証明書」で充足できる。
【15歳未満】
満15歳に達した日以後最初の3月31日が終了するまで、土木、建築その他工作物の建設等又はその準備の事業に就労することは禁止されている。

・労働基準法第64条及び女性労働基準規則に、坑内労働・妊産婦の就労制限の業務の範囲が規定されている。

・一般健康診断には、雇入時の健康診断と定期健康診断があり、労働安全衛生法第66条（安衛則第43条〜45条）に規定されている。
・特定の有害業務（安衛法施行令第22条の業務）に従事する作業員に対し、雇入時、配置替え時及び定期に特別項目の健康診断を実施しなければならない。
・定期健康診断は就業後1年以内毎に1回受診とし、有害業務従事者は6ヶ月以内毎に1回受診しなければならない
・健康診断の法定実施期限が過ぎないように管理すること。
・元方事業者は健康状態を確認し、必要な指導を行う。所見有りの場合は、治療、配置替え等行う。
・健康診断に関する秘密の保持（労働安全衛生法第104条）実施に関して知り得た労働者の心身の欠陥その他の秘密を漏らしてはならない。
○平成17年4月1日施行「個人情報の保護に関する法律」に基づき、作業員の健康情報（健康診断の結果、病歴、その他の健康に関する情報）については、適正に取り扱うこと。

受入教育（新規入場時教育）を実施したときに記入する。

・各作業主任者の選任にあたっては、施工する工事の内容を十分勘案して、技能講習修了者（一部免許あり）の中から選任すること。

(注)1. *印欄には次の記号を入れる。
現主習 … 現場代理人
… 主任技術者
… 外国人技能実習生
(注)2. 作業主任者は作業を直接指揮する義務を負うので、同時に施工されている他の現場や、同一現場において他の作業個所との作業主任者を兼務することは、法的に認められていないので、複数の選任としなければならない。
(注)3. 事業者及び技能者が建設キャリアアップシステムに登録されている場合は、当該事業者の事業者ID及び現場ID並びに当該技能者の技能者IDを記載。
(注)4. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。
(注)5. 各社別に作成するのが原則だが、リース機械等の運転者は一緒にてもよい。
(注)6. 資格・免許等の写しを添付することになるが、その場で本証とチェック出来れば不要。

作 … 作業主任者(注2)
職 … 職長
基 … 基幹技能者

女 … 女性作業員
安 … 安全衛生責任者
未 … 18歳未満の作業員

就 … 外国人建設就労者
能 … 能力向上教育
再 … 危険有害業務・再発防止教育

1特 … 1号特定技能外国人

(注)7. 健康保険欄には、健康保険の名称(健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険)を記載。
上記の保険に加入しておらず、後期高齢者である等により、国民健康保険の適用除外である場合には、左欄に「適応除外」と記載。
(注)8. 年金保険欄には、年金保険の名称(厚生年金、国民年金)を記載。各年金の受給者である場合は、左欄に「受給者」と記載。
(注)9. 雇用保険欄には被保険者番号の下4けたを記載。(日雇労働被保険者の場合には左欄に「日雇保険」と追記)
事業主である等により雇用保険の適用除外である場合には左欄に「適用除外」と記載。
(注)10. 安全衛生に関する教育の内容(例：雇入時教育、職長教育、建設用リフトの運転の業務に係る特別教育)については「雇入・職長特別教育」欄に記載。
(注)11. 建設工事に係る知識及び技術又は技能に関する資格(例：登録〇〇基幹技能者、〇級〇〇技能士)を有する場合は、「免許」欄に記入。
(注)12. 退職金共済手帳所有の有無については、建退共手帳所有の場合には「建」を中退共手帳所有の場合には「中」を、
その他の手帳所有の場合には「他」を、所有していない場合には「無」を○で囲む。
(注)13. 記載事項の一部について、別紙を用いて記載しても差し支えない。

104-00
東京都中央区

株式会社

御中

(5246)

健康保険
介護保険

保険料納入告知額口座振替通知書

104-00
東京都中央区

株式会社

御中

調定年度
平成29年度

納付日の年月
平成29年05月

振替年月日
平成29年06月30日

告知額通知書発行年月日
平成29年06月15日

一般保険料	基本保険料	特定保険料	調整保険料	介護保険料
003円	008円	077円	04円	775円

納付額 73円

告知番号	指定銀行	支店名	口座種別	口座番号
006	三菱東京UFJ			

貴事業所の本月分の保険料は表記載の額のとおりです。
指定振替日に振替できますようお願いいたします。

〒101-8325 東京都千代田区神田駿河台2-1

管工業健康保険組合
理事長 篠原 直男
電話 03 (3291) 4530

健康保険
介護保険

口座振替済領収証書

104-00
東京都中央区

株式会社

御中

調定年度
平成29年度

納付日の年月
平成29年04月

振替年月日
平成29年05月31日

領収証書発行年月日
平成29年06月15日

一般保険料	基本保険料	特定保険料	調整保険料	介護保険料
003円	011円	021円	04円	064円

納付額 87円

告知番号	指定銀行	支店名	口座種別	口座番号
006	三菱東京UFJ			

上記金額正に領収しました。

〒101-8325 東京都千代田区神田駿河台2-1

管工業健康保険組合
理事長 篠原 直男
電話 03 (3291) 4530

この領収証書は2年間納入額に保存してください。

2016年 3月31日 10:44:32

税金・各種料金の払込 内容確認

株式会社 様

1枚目 / 1枚中

払込内容をご確認ください。

引落口座	支店	株式会社
納付番号	359	
お名前(カナ)	カブシキガイシャ サマ	
お名前(漢字)		
払込内容	社会保険料等 (国庫金)	
払込金額 (円)	05	
払込先からのお知らせ		

領収済通知書

国庫金

厚生保険

年度	32401	27	00000000000000000000	取組番号	00000000000000000000	取組名	厚生労働省年金局(中央)
支払期年月	平成28年 2月分	2643	21	01	6		
支払期日	平成28年 3月31日	0	70	35			
納入期	平成28年 3月22日						
事業所管理番号	21N3EC	事業所番号	07428	うち延滞受領		延滞受領	
60内税別金額	00500	納付番号		電話番号		合計額	05
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店、納入代理店又は日本年金機構						
中央	年金事務所						
納入徴収先	厚生労働省年金局事業管理課長						
(領収済通知書送付先)	(〒100-8001 東京都千代田区千代田1-1-1)						
日本年金機構 東京	事務センター内厚生労働省年金局						
〒135-8071	江東区有明3-6-11 17Fビル東館						
担当課	日本年金機構中央	年金事務所徴収担当	2815	翌年度5月1日以降年度納入組入			
この納入通知書(領収書)はPay-easy(ペイジー)利用の通知書、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。							

23440183

様式第4号（第2版）（平成28年4月1日現在）（労働局）

労働保険 概算・増加概算・確定保険料 申告書
石川県建設業協会 一般拠出金

継続事業

0123456789

事業主印

受付
27.7.10中央労働年金基金
労務課

あて先 〒 102-8307

千代田区九段南1-2-1
九段第3合同庁舎12階東京労働局 8nfevgcb
労働保険特別会計歳入徴収官

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

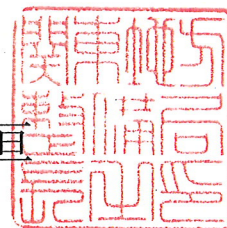
〒104-0042

東京都中央区
入船3-6-3

日本メックス（株）

平成28年 9月 6日

今泉 正義 殿

関東地方整備局長
大 西

特定建設業の許可について（通知）

平成28年 5月31日付けで申請のあった特定建設業については、
建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので、
通知する。

記

許 可 番 号	国土交通大臣 許可（特－28）第 43 号
許可の有効期間	平成28年 7月16日から平成33年 7月15日まで
建設業の種類	

土木工事業
大工工事業
石工事業
電気工事業
タイル・れんが・ブロック工事業
舗装工事業
防水工事業
造園工事業

建築工事業
とび・土工事業
屋根工事業
管工事業
鋼構造物工事業
塗装工事業
内装仕上工事業

注） 許可の更新申請を行う場合の書類提出期限；平成33年 6月15日
（この日が行政庁の休日に該当する場合は、直後の開庁日）

〒104-0042

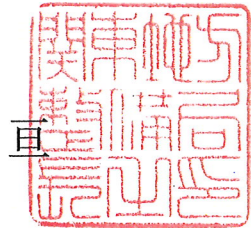
東京都中央区
入船3-6-3

日本メックス（株）

平成28年 9月 6日

今泉 正義 殿

関東地方整備局長
大 西



一般建設業の許可について（通知）

平成28年 5月 31日付けで申請のあった一般建設業については、
建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので、
通知する。

記

許 可 番 号	国土交通大臣 許可（般－28）第 43 号
許可の有効期間	平成28年 7月16日から平成33年 7月15日まで
建設業の種類	
電気通信工事業	消防施設工事業

注） 許可の更新申請を行う場合の書類提出期限；平成33年 6月 15日
（この日が行政庁の休日に該当する場合は、直後の開庁日）

〒104-0042

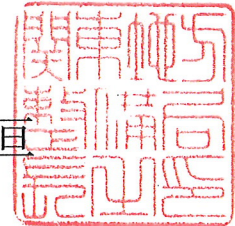
東京都中央区
入船3-6-3

日本メックス（株）

平成28年 9月 6日

今泉 正義 殿

関東地方整備局長
大 西



特定建設業の許可について（通知）

平成28年 6月 17日付けで申請のあった特定建設業については、
建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので、
通知する。

記

許 可 番 号	国土交通大臣 許可（特－28）第 43 号
許可の有効期間	平成28年 9月 6日から平成33年 9月 5日まで
建設業の種類	解体工事業

注） 許可の更新申請を行う場合の書類提出期限；平成33年 8月 6日
（この日が行政庁の休日に該当する場合は、直後の開庁日）

全建統一様式第1号-乙

2016年 8月 8日

下請負業者編成表

(一次下請負業者＝作成下請負業者)

塗 装	会 社 名	○△×建設株式会社	
	安全衛生責任者	冬山 浩二	
	主 任 技 術 者	協会 太郎	
	専 門 技 術 者		
	工事	担当工事内容	
	登録基幹技能者		
工期	2016年8月8日 ～ 2016年12月25日		

(二次下請負業者)				(二次下請負業者)				(二次下請負業者)						
工 事	会 社 名				会 社 名				会 社 名					
	安全衛生責任者				安全衛生責任者				安全衛生責任者					
	主 任 技 術 者				主 任 技 術 者				主 任 技 術 者					
	専 門 技 術 者				専 門 技 術 者				専 門 技 術 者					
	工事	担当工事内容				工事	担当工事内容				工事	担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月 日			工期	年 月 日～ 年 月 日			工期	年 月 日～ 年 月 日					

(三次下請負業者)				(三次下請負業者)				(三次下請負業者)						
工 事	会 社 名				会 社 名				会 社 名					
	安全衛生責任者				安全衛生責任者				安全衛生責任者					
	主 任 技 術 者				主 任 技 術 者				主 任 技 術 者					
	専 門 技 術 者				専 門 技 術 者				専 門 技 術 者					
	工事	担当工事内容				工事	担当工事内容				工事	担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月 日			工期	年 月 日～ 年 月 日			工期	年 月 日～ 年 月 日					

(四次下請負業者)				(四次下請負業者)				(四次下請負業者)						
工 事	会 社 名				会 社 名				会 社 名					
	安全衛生責任者				安全衛生責任者				安全衛生責任者					
	主 任 技 術 者				主 任 技 術 者				主 任 技 術 者					
	専 門 技 術 者				専 門 技 術 者				専 門 技 術 者					
	工事	担当工事内容				工事	担当工事内容				工事	担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月 日			工期	年 月 日～ 年 月 日			工期	年 月 日～ 年 月 日					

(記入要領) 1. 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された「届出書」(様式第1号-甲)に基づいて本表を作成の上、元請に届けでること。

2. この下請負業者編成表でまとめきれない場合には、本様式をコピーするなどして適宜使用すること。

3. 二次下請負業者を使用しない場合は、この書類は提出不要。

平成 29年 8月 8日

統括安全責任者

作業所長 夏川 二郎 殿

会社名 ○×△建設株式会社



安全衛生責任者 冬山 浩二

作業主任者・作業指揮者選任報告書

下記のとおり選任しましたのでご報告いたします。

氏 名	主任者 指揮者区別	年齢	選任年月日	経験 年数	作業場所	免許・資格等 取得年月及び番号
企画 太郎	主任者 型枠大工	53	H23. 7. 5	35		型枠支保工組立作業主任者

注) 1. 作業主任者を配置すべき作業

1 地山の掘削作業	8 砕石掘削作業	15 エックス線作業
2 土止め支保工作業	9 材料加工用機械作業	16 有機溶剤作業
3 型枠支保工組立等作業	10 コンクリート破砕作業	17 木造家屋軸組立等作業
4 足場組立等作業	11 ボイラー据付作業	18 ずい道等の掘削作業主任者
5 酸素欠乏危険作業	12 はい作業	19 ずい道等の履行作業主任者
6 ガス溶接作業	13 鉄骨の組立等作業	20 コンクリート造の工作物解体等作業主任者
7 高圧室内作業	14 鉛作業	21 その他法令で定められた作業

注) 2. 作業指揮者を要する作業

A 掘削の作業により露出したガス導管の防護作業	G 導火線発破作業
B クレーンの組立、解体作業	H 電気発破作業
C デリック組立、解体作業	I 高所作業を用いる作業
D コンクリートポンプ車の輸送管等の 組立・解体作業	J くい打（抜）機の組立、解体作業
	K 車両系建設機械の修理作業
E 建設用リフトの組立、解体作業	L エレベーターの組立、解体作業
F 建築物、橋梁足場等組立・解体作業	M その他法令で定められた作業

※資格証明書の写しを添付して下さい。

元 請 確認欄	
------------	--

平成 29年 8月8 日

不法就労外国人等を雇用しない誓約書

〇〇ビル模様替工事所長 夏川 次郎 殿

会 社 名 ○×△建設株式会社



所 在 地 東京都千代田区九段下〇ー×

代表者名 冬山 浩二



貴事業所の工事施工にあたり、当社及び関係請負人は出入国管理及び難民認定法に違反して不法に就労する外国人を雇用していないことを誓約いたします。

外国人建設就労者建設現場入場届出書

所長殿

2020年 11月 10日

会社名（1次下請企業） 〇×△建設株式会社（責任者の職・氏名） 代表取締役 冬山浩二会社名（受入企業） 株式会社 〇△工務店（責任者の職・氏名） 代表取締役 春野太郎

外国人建設就労者等の建設現場への入場について下記のとおり届出ます。

記

1 建設工事に関する事項

建設工事の名称	〇〇ビルエンジン模様替工事
施工場所	東京都中央区入船2-×-〇

2 建設現場への入場を届け出る外国人就労者等に関する事柄

※4名以上の入場を申請する場合、必要に応じて欄の追加や別紙とする等対応すること。

	外国人建設就労者 1	外国人建設就労者 2	外国人建設就労者 3
氏名	〇〇 ××	△△ □□	
生年月日	2000. 10. 10	1998. 10. 11	
性別	男	男	
国籍	中国	ミャンマー	
従事させる業務	基礎型枠工事 (型枠工事作業)	基礎型枠工事 (型枠工事作業)	
現場入場の期間	2020. 11. 12～2020. 12. 1	2020. 11. 12～2020. 12. 1	
在留資格	<input type="checkbox"/> 外国人建設就労者	<input checked="" type="checkbox"/> 外国人建設就労者	<input type="checkbox"/> 外国人建設就労者
※いずれかをチェック	<input checked="" type="checkbox"/> 建設特定技能	<input type="checkbox"/> 建設特定技能	<input type="checkbox"/> 建設特定技能
在留期間満了日	2021. 5. 1	2021. 6. 1	
CCUS登録情報が最新であることの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認済 (確認日：2020. 11. 12)	<input type="checkbox"/> 確認済 (確認日：)	<input type="checkbox"/> 確認済 (確認日：)
※登録資格のある者のみ			

3 受入企業・建設特定技能受入れ計画及び適正監理計画に関する事項

就労場所	関東地方
従事させる業務の内容	型枠工事作業
従事させる期間（計画期間）	2020. 5. 1～2022. 4. 30
責任者（連絡窓口）	役職 代表取締役 氏名 冬山浩二 連絡先 03-1234-****

※ 裏面を確認してください。

在 留 カ ー ド （ 写 し ）

必ず両面を写しを提出ください

在留資格が永住者の場合



住居地記載欄		
届出年月日	住居地	記載者印
2014年12月1日	東京都港区港南5丁目5番30号	東京都港区長
業務外活動許可欄		在留期間更新等許可申請欄
許可: 原則週28時間以内・風俗営業等の従事を除く		在留資格更新許可申請中

元請確認欄

平成 29年 8月 8日

年少者・高齢者就労報告書

作業所の名称

日本メックス㈱丸の内ビル作業所

統括安全衛生責任者

夏 川 二 郎 殿

会社名 ○×△ 建設株式会社

安全衛生責任者 冬山 二郎

1. 年少者就労報告書

下記の者は年少者（満18歳未満）ですが、当社の責任において就労させることを報告します。

氏 名	生 年 月 日 (年令)	現 住 所	電 話
山 形 信 一	平成 5年 8月15日 (17)	江東区大島8-15-3	03-〇〇〇〇-9876
	平成 年 月 日 ()		
	平成 年 月 日 ()		
	平成 年 月 日 ()		

※年齢証明書を添付 (住民票記載事項の証明書等)

2. 高齢者就労報告

下記の者は高齢者（満60歳以上）ですが、当社の責任において就労させることを報告します。

氏 名	生 年 月 日 (年令)	現 住 所	電 話
間 島 健 児	昭和21年 4月25日 (65)	浦安市堀江1350	043-〇〇〇-7777
秋 田 一 郎	昭和23年11月20日 (62)	江東区大島8-15-3小名木寮	03-〇〇〇〇-1379
	昭和 年 月 日 ()		
	昭和 年 月 日 ()		

全建統一様式第9号

移動式クレーン

車両系建設機械

等

使用届

事業者の名称
所 長 名

日本メックス㈱
〇〇模様替工事事務所
日本 太郎 殿

一次会社名
持込会社名
(次)
代 表 者 名
電 話

〇×△建設株式会社
佐藤 工事
03-****-1234

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。
なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

使用会社名				代 表 者 名			
		名 称	メーカ ー	規 格 ・ 性 能	製 造 年	管理番号 (整理番号)	
機 械					年		
持 込 年 月 日		年 月 日		使用場所	自 社 ・ リース の 区 別		
搬 出 予 定 年 月 日		年 月 日			自 社 ・ 〇		
運 転 者 (取扱者)		氏 名		資 格 の 種 類			
自 主 効 力 期 限	定 期	年 次	年 月 日	移動式クレーン等の 性能検査有効期限	年 月 日	自動車検査 証有効期限	年 月 日
		月 次	年 月 日		年 月 日		
	特 定	年 月 日	移動式クレーン等の 性能検査有効期限	年 月 日	自動車検査 証有効期限	年 月 日	
任意保険		加入額	対人 対物	千円	千円	有効期限	年 月 日
接触防止措置等							
機械等の特性・その他その使用上注意すべき事項							
元 請 確 認 欄		受 理 番 号		受 理 証 確 認 者			
担 当 者			年 月 日				

持 込 時 の 点 検 表

所 有 会 社 名				代 表 者 名						
移 動 式 ク レ ー ン 等				車 両 系 建 設 機 械 等						
点 検 事 項		点検結果		点 検 事 項		点検結果				
		(a) (b)				(a) (b)				
A クレーン部 (上部旋回体)	安全装置・制御装置・作業装置その他	巻 過 防 止 装 置			D 安 全 装 置	各種ロック	旋 回			
		過 負 荷 防 止 装 置					バ ケ ッ ト			
		フックのはずれ止め					ブ ー ム ・ ア ー ム			
		起 伏 制 御 装 置								
		旋 回 警 報 装 置								
		主 巻 ・ 補 巻								
		ク ラ ッ チ					ア ウ ト リ ガ			
		ブ レ ー キ ・ ロ ッ ク					ヘ ッ ド ガ ー ド			
		ジ ブ					照 明			
		滑 車					操 作 装 置			
B 車 輛 部 (下部走行体)	走行装置	フック・バケット			E 作 業 装 置	バケット・ブレード				
		ワイヤロープ・チェーン					ブ ー ム ・ ア ー ム			
		玉 掛 用 具					ジ ブ			
		操 作 装 置					リ ー ダ			
		その性能表示					ハンマ・オーガ・バイブロ			
		照 明					油 圧 式 駆 動 装 置			
		ブ レ ー キ					ワイヤロープ・チェーン			
		ク ラ ッ チ					つ り 具 等			
		ハ ン ド ル					滑 車			
		タ イ ヤ					F 走 行 部	ブ レ ー キ		
C ゴンドラ	安全装置等	ク ロ ー ラ			F 走 行 部	駐 車 ブ レ ー キ				
		警 報 装 置					ブ レ ー キ ロ ッ ク			
		各 種 ミ ラ ー					ク ラ ッ チ			
		方 向 指 示 器					操 縦 装 置			
		前 後 照 灯					タ イ ヤ ・ 鉄 輪			
		左 折 プ ロ テ ク タ ー					ク ロ ー ラ			
		ア ウ ト リ ガ					G 電 気 装 置	配 電 盤		
		昇 降 装 置					配 線			
		ベ ッ セ ル					絶 縁			
		後 方 監 視 装 置					ア ー ス			
D その他	安全装置等	突 り よ う			H その他					
		作 業 床								
		昇 降 装 置								
		電 気 装 置								
		ワイヤ・ライフライン								
		年 月 日								
		点 検 日					点 検 日			
		(a) 点 検 者					(b) 点 検 者			

(注)

1. 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へレ印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する（転記の必要はなし）。
4. 機械名(1)から(6)まではA、B欄を、(7)はC欄を、(8)から(42)まではD、E、F、G欄を、(43)から(47)まではB欄を、(48)はB、D、E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。
元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

機 械 名

1 クレーン
2 移動式クレーン
3 デリック
4 エレベーター
5 建設用リフト
6 高所作業車
7 ゴンドラ
8 ブル・ドーザー
9 モーター・グレーダー
10 トラクターショベル
11 ずり積機
12 スクレーパー
14 パワー・ショベル
15 ドラグ・ショベル
(油圧ショベル)
16 ドラグライン
17 クラムシェル
18 バケット掘削機
19 トレンチャー
20 コンクリート圧砕機
21 くい打機
22 くい抜機
23 アース・ドリル
24 リーバ・サーキュレー
ション・ドリル
25 せん孔機
26 アース・オーガー
27 ペーパードレン・マシン
28 地下連続壁施工機械
29 ローラー
30 クローラドリル
31 ドリルジャンボ
32 ロードヘッダー
33 アスファルトフィニッシャ
34 スタビライザ
35 ロードプレーナ
36 ロードカッター
37 コンクリート吹付機
38 ボーリングマシーン
39 ブレーカ
40 鉄骨切断機
41 コンクリート圧砕機
42 解体用つかみ機
43 重ダンプトラック
45 トラックミキサー
46 散水車
47 不整地運搬車
48 コンクリートポンプ車
49 その他

全建統一様式第4号

持込機械等

電動工具
電気溶接機

 等 使用届

事業者の名称 日本メックス(株)

所 長 名 入船 浩二 殿

一次会社名 ○×△建設株式会社

持込会社名 (次)

代 表 者 名 冬山 浩二

電 話 03-〇〇〇〇-1234

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

記

番号	機 械 名	規 格 能	管 理 番 号 受 理 番 号	持 込 年 月 日 搬出予定年月日	点 検 者	取 扱 者
1	電工ドラム	1 0 0 V	空ー1	2017年 8月 8日	冬山	夏川
			空ー1	2017年 12月 25日		
2	ローベンダー	1 0 0 V	空ー2	2017年 8月 8日	冬山	夏川
			空ー2	2017年 12月 25日		
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
機械の特性、その他その 使用上注意すべき事項						
元 請 確 認 欄				受 付 確 認 者		
担 当 者				年 月 日		

持 込 時 の 点 検 表 点検

電 動 工 具 ・ 電 気 溶 接 機 等											機 械 名
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
点検事項											①電動カンナ
ア ー ス 線											②電動ドリル
接 地 ク ラ ン プ											③電動丸のこ
キャップタイヤ											④グラインダー等
コ ネ ク タ											⑤アーク溶接機
接 地 端 子 の 締 結											⑥ウインチ
充 電 部 の 絶 縁											⑦発電機
自 動 電 撃 防 止 装 置											⑧トランス
絶 縁 ホ ル ダ ー											⑨コンプレッサー
溶 接 保 護 面											⑩送風機
操 作 ス イ ッ チ											⑪ポンプ機
絶 縁 抵 抗 測 定 値											⑫ミキサー類
各 種 フ レ キ の 作 動											⑬コンベヤー
手 す り ・ 囲 い											⑭吹付機
フックのはずれ止め											⑮ボーリングマシン
リヤローフ・チェーン											⑯振動コンパクター
滑 車											⑰バイブレーター
回 転 部 の 囲 い 等											⑱鉄筋加工機
危 険 表 示											⑲電動チェーンブロック
そ の 他											⑳その他
圧 力 ス イ ッ チ											
安 全 弁											
圧 力 計											

(注) 1. 持込機械等の届出は、当該機械を持込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へレ印を記入すること。
4. 持込機械届受理証を持込機械に貼付すること。

脚 立 使 用 申 請 書

申 請 先

工事名	千代田商事丸の内ビル改修工事		
元請会社名	日本メックス(株)	現場代理人名	八重洲 太郎 殿

下記目的にて、脚立を使用いたしたく許可願います。
 なお、下記目的以外には使用しないことを誓約いたします。

申 請 内 容

使用日	平成 29年 8月 8日	から	平成 29年 12月 25日
使用時間	時	から	
使用脚立	※下記の使用脚立の大きさを○印で囲み、使用目的等記入のこと		
使用目的	6 尺 以 下	7 尺 以 上	
	1. 墨出し作業 2. 昇降のため 3. 工事写真撮影 4. 点検/確認業務 5. その他の業務 ※作業内容を必ず記入すること <input type="radio"/> 2人作業を厳守します <input type="radio"/>	● 基本は、使用禁止(足場設置) ● 現場代理人と打合せを行い、現場で規定されている限定作業のみで使用する 7尺以上の使用理由 記入欄 作業内容 <input type="radio"/> 2人作業を厳守します <input type="radio"/>	
	※脚立の材質に (・ 絶縁脚立 ・ アルミ脚立)		

許 可 申 請

申 請 日	平成 29年 8月 8日
会 社 名	○×△建設株式会社
申請者氏名(職長)	企画 一郎 (一次申請会社名:)
申請脚立使用者名	事務 牡丹

《 許 可 》

許可年月日	平成 年 月 日	脚立管理番号	
担 当 者		備 考	

全建統一様式第11号

元 請
確認欄

平成 29 年 8 月 8 日

有機溶剤・特定化学物質等持込使用届

事業所の名称 ○○模様替工事工事事務所

一次会社名 ○×△建設株式会社



所 長 名 入船 浩二 殿

使用会社名
(二次) ㊞現場代理人
(現場責任者) 冬山 二郎 ㊞

このたび、下記の有機物質・特定化学物質等を持込・使用するのでお届けします。
なお、使用に際しては、SDS（安全データシート）内容を掲示し、作業員に対して周知を行うとともに
関係法規を遵守します。

使 用 材 料	商品名	メーカー名	搬入量	種別	含有成分			
	タフダイン 青	クボタシーアイ（株）		硬質塩化ビニル管用接着剤	メチルエチルケトン・シクロヘキサン・アセトン			
	カラータフダイン ブルー	クボタシーアイ（株）		硬質塩化ビニル管用接着剤	メチルエチルケトン・シクロヘキサン・アセトン			
	エスロン	積水化学工業（株）		硬質塩化ビニル管用接着剤	メチルエチルケトン・シクロヘキサン・アセトン			
使 用 場 所								
保 管 場 所				使用機械 又は工具				
使 用 期 間		年	月	日	～	年	月	日（予定）
作 業 主 任 者 等	氏 名							
	作業手順書	添 付	（有 ・ 無）					
S D S	SDS	添 付	（有 ・ 無）					
換 気 等 対 策								

- （注） 1. 商品名、種別、含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写し、記入して下さい。
2. 危険物とは、ガソリン、灯油、プロパン、アセチレンガス等をいいます。
3. 有害性とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいいます。

全建様式第8号

元 請
確認欄工 事 用 車 両 届
通 勤

事業所の名称 ○○ビル模様替工事工事事務所

一次会社名

○×△建設株式会社



使用会社名

所 長 名 入船 浩二 殿

(次)

印

現場代理人

(現場責任者)

冬山 次郎



下記の通り(工事・通勤)用 車両を運行しますので、お届けいたします。

使 用 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日				
所 有 者 氏 名			安全運転管理者氏名		
車 型			車 両 番 号		
両 車 検 期 間	年 月 日		~	年 月 日	
運 氏 名			生 年 月 日	年 月 日	
転 住 所					
者 免許の種類			免許番号		
自 賠償会社名			証券番号		
保 險 期 間	年 月 日		~	年 月 日	
任 意 保 險 会社名			証券番号	号	
対 人	万円		対 物	万円	
保 險 期 間	年 月 日		~	年 月 日	
運 行 経 路	自	~経由		~経由	~至

- (注) 1. この届出書は車両1台ごとに提出すること。
 2. この届出書に「任意保険」の証書(写)を添付し提出すること。
 3. 運転手が変わった場合はその都度届け出る事。